

# 道

2022・5・4

通信 No 1681



シャガ

《本日の練習》 清水先生 小坂先生 6時～8時30分

・群青 ・森へ行きましょう（大地讃頌 アメージング・グレースも持参）

《次週 5月11日》 小坂先生 二宮先生 6時～8時30分

吉野町市民プラザホール シチエドリック バンドウーラを手に入れば

（二つの岸 ・キエフの鳥の歌 ・森はざわめく も楽譜持参）

北澤夏司  
◎電子書籍＝800円◎オンデマンド◎＝2480円  
何処へ行く  
5回のユーラシア大陸を駆け回った日々を  
綴ったサイクリスト必見の自転車旅行記  
気分は風のボヘミアン  
— 欧州シニア自転車放浪記 —

5月1日「朝日新聞」一面下部に広告を見つけました。著者の北澤夏司さん（合唱団「道」の元団長）は、先日お電話で「ウクライナには僕は二度行ったんだよ」と言っておられた。ヨーロッパの真珠ともたとえられたかの国の昨今のT.Vでの破壊し尽くされた映像に接する彼の気持ちは察するに余りある。でも今となってはその美しい街々を「心さわぐ青春のうた」や「広きドニエプルの嵐」等を口ずさみながら、一步一步自転車を漕いで二度もその街の風景に溶け込んだというかけがえのない体験はことさらに貴重なものになったと思います。「道」旧団員の大貫とも代さんはこの本を寝る前に読む本と決めていて「もう二回読み終わりました。」と言っていました。私は一回読んだだけです。内容も殆ど忘れていきますから、この電子書籍版というものを手に入れて（娘に教わりつつ）画面で本を読むことにチャレンジしてみようかしら。

画面では文庫本に挿入されている写真もカラーで見られるらしいし、80歳を過ぎの私の老化の進行がゆっくりになるかも、、、とこのコロナ禍でやることを見つけたような気がしています。（元団員 菅原郁子）

私が四国八十八ヶ所霊場巡拝の旅に出かけたのは、今から23年前の1999年10月の事でありました。その時の記録の一部が「道通信」に掲載され皆様の眼を汚した訳ですが、当時私は72歳、急な坂道の上下も余り苦にすることなく歩けました。その紀行文はコロナ禍による規制記事などの紙面の関係で中断され、今日に至っております。この度「道通信」紙面の関係で再び皆さんの眼を汚すことになりそうなので、内心忸怩たる思いですが、読み返してみてもあの当時はまだ若かったと感ずります。今の私は医者で検査づくめの毎月、幸い何とか無事過ぎておりますが、これも偏に合唱に打ち込んできたお陰と感謝しております。

実は最近「一ノ蔵男性合唱団」のコンサートを聴きに行き参りました。この合唱団も高齢者（幸齢者）が多いようですが、歌う事によってハーモニーを愉しみ、心和やかなパフォーマンスを観せてくれました。「道」で歌っていた時の自分を思い出し胸が熱くなりました。腹式呼吸で発声してハーモニーを作り出すのが心身の健康上どんなによいか、私の場合こうしておられるのも「道」のお陰という事をあらためて認識した次第です。どうか皆様、「道」で歌って長生きをしてください。（増田 平）

《企画選曲委員会》 5月18日（水） 3時00分～5時00分 県民サポートセンター708号